



学びの直送便

『学び続ける教職員』であるために

それぞれのキャリアステージからの更なる成長へ



初任者・新規採用者研修等共通「教育実践」講座

各校種・職種別に「センター研修で学んだこと」、「勤務校研修で学んだこと」、「幼児、児童生徒から学んだこと」の3つの柱で本年度の実践を振り返り、研究協議を行いました。

1年間の実践を振り返りながら、子どもが持つ力の育成に関わることの喜びと責任感、授業を通して子どもとつながり、信頼を得ることの大切さ等、教職員としての自覚や自分の歩む方向性を互いに共有しながら、今後の実践に向け活発に協議しました。

午後からは全体での研修と、様々な校種・職種の初任者・新規採用者による実践発表を行いました。実践発表では、様々な研修を通して学んだ成果や1年間の実践、今後の抱負等について発表がありました。

研修を通して、向上心を持ち『学び続ける教職員』でありたいという受講者の強い決意を感じ取ることができました。自らの視野を広げるとともに今後の教育実践への展望を持つことができました。

実践発表者

| | | |
|----------------|-------|------|
| 相楽東部広域連合立笠置小学校 | 神代 則文 | 教諭 |
| 亀岡市立東輝中学校 | 小谷 貴之 | 教諭 |
| 京都府立大江高等学校 | 山口 拓哉 | 教諭 |
| 京都府立向日が丘支援学校 | 野村 真珠 | 教諭 |
| 伊根町立伊根小学校 | 改田 佑実 | 栄養教諭 |

感想

1年間の研修は、自身の資質能力を向上させるためにとても大きな学びが毎回あった。一度にすべてのことを実践するのは難しいが、これからも日々の積み重ねを大切に、謙虚な姿勢を忘れずに過ごしたいと思う。そして、子どもが安心して楽しく過ごせるように支えていきたい。

実践発表、研究協議等で様々な先生方の1年間の学びを聞き、多くの刺激をもらうことができた。自分に足りないことはまだまだあるが、その一つ一つに取り組み、2年目もステップアップしていきたい。

1年間の 研修の様子



「初任期スタート」講座



「コミュニケーション」講座



「京の伝統文化体験」講座



「教育実践」講座

2年目教員「ステップアップ3」講座

初任者研修を終えた2年目の教員が自己や学校・地域の課題に応じたテーマに取り組み、協働的にその解決の方策を見いだすことで自立的な課題解決能力を養い、教育実践の資質能力を高めることを目的に実施しています。

初任者研修に引き続く研修であり、初任期育成研修の締めくくりにあたる講座です。2年目の教員が自らのテーマに基づいた実践について発表し、課題についてディスカッション等を行う姿から、様々な課題に真摯に取り組み、失敗体験からも多くの学びをつかみ取ろうと、奮闘する様子が見られました。



研修の様子

感想

同期の先生方との実践の交流では、様々な視点や角度から問題状況を捉えることができ、大変貴重な機会となった。また、新学習指導要領で示される内容や評価方法などについて、じっくりと考え検討する機会にもなった。

2年目となり、できていたような気になっていたことに気付くことができ、どう改善していかなければならないかが明確になった。目標を持ちつつも『学び続ける教職員』でありたい。

中堅教諭等資質向上研修「共通」講座V

今年度の中堅教諭等資質向上研修では、京都府教員等の資質能力の向上に関する指標における観点「基本的資質能力」「人権」「学習指導」「生徒指導」「マネジメント」「チーム学校」「京都ならではの教育」を網羅し、5つの講座を展開しました。

最終回となる本講座では、すべての子どもを大切に授業づくりと学校における危機管理を学びました。そして、振り返りの時間を多く設定し、これまでの教員生活約10年を見つめ直しました。

5回の共通講座、勤務校研修から得たものを生かして、ミドルリーダーとして活躍するとともに『学び続ける教職員』として自己研さんに努めようとする姿が見られました。

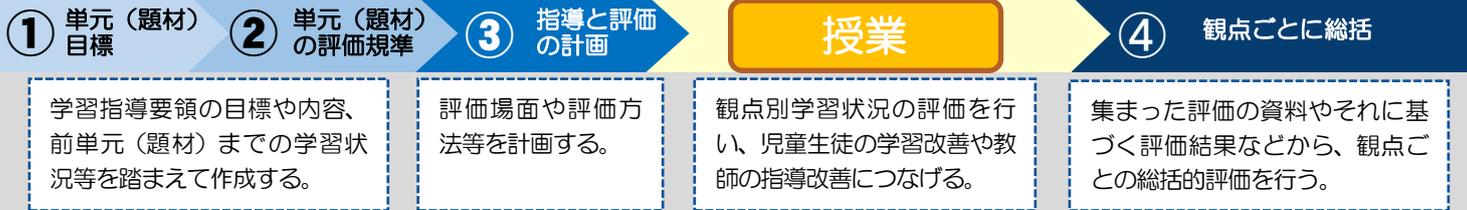


研修の様子

感想

研修名にも中堅とあるように、自分の立場が組織的に動く際のものになったり、個としての責任以上につき役として役割を果たしたりするものになってきている。自分自身が学び続けるとともに、学校という組織の中で核となって動き、児童生徒と向き合う存在でありたい。

◆ 学習評価の進め方



◆ 指導と評価の一体化を目指す学習評価の進め方 ①・②のポイント

学習指導要領の目標や内容等を踏まえて作成します。学習指導要領における各教科の内容の構成を捉えておくことが大切です。例えば、小学校の音楽科、図画工作科では、「知識」の事項と「技能」の事項が分かれた構成になっています。

① 単元（題材）目標 **② 単元（題材）の評価規準**

【小学校音楽科の内容構成】

| | | | | |
|--------|----------|----------------|------|------|
| A 表現 | (1)歌唱 | ア 思考力、判断力、表現力等 | イ 知識 | ウ 技能 |
| | (2)器楽 | ア 思考力、判断力、表現力等 | イ 知識 | ウ 技能 |
| | (3)音楽づくり | ア 思考力、判断力、表現力等 | イ 知識 | ウ 技能 |
| B 鑑賞 | | ア 思考力、判断力、表現力等 | イ 知識 | |
| 【共通事項】 | | ア 思考力、判断力、表現力等 | イ 知識 | |

♪音楽科の知識とは？
曲名や音符、休符、記号などの知識のみを指すものでなく、児童一人一人が、**音楽に対する感性などを働かせて感じ取り、理解したものであり**、今回の改訂では「曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解すること（低・中学年は気付くこと）」として示されています。

♪音楽科の技能とは？
表したい音楽表現をするための技能であり、児童が工夫を試すことができる教材設定及び指導計画の作成がポイントです（児童の表現したい思いや意図は「思考・判断・表現」で見取ります。）。

【小学校図画工作科の内容構成】

| | | | | |
|--------|----------|----------------|----------------|------|
| A 表現 | (1)発想や構想 | ア 思考力、判断力、表現力等 | イ 知識 | ウ 技能 |
| | (2)技能 | ア 技能 | イ 技能 | |
| B 鑑賞 | | ア 思考力、判断力、表現力等 | | |
| 【共通事項】 | | ア 知識 | イ 思考力、判断力、表現力等 | |

♪図画工作科の知識とは？
形や色などの名前を覚えるような知識のみを示すものでなく、児童一人一人が、**自分の感覚や行為を通して形や色などを理解すること**であり、今回の改訂では「対象や事象を捉える造形的な視点について理解すること（低学年は気付くこと、中学年は分かること）」として示されています。

♪図画工作科の技能とは？
手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具の特徴を生かしながら、材料を用いたり、用具を使ったりすることです。**自分の思いを生かした創造的な活動を楽しむ過程を通して「技能」を育成すること**がポイントです。

※【共通事項】は表現及び鑑賞の学習において共通に必要な内容

◆ 指導と評価の一体化を目指す学習評価の進め方 ③のポイント

③ 指導と評価の計画 どのような評価の資料を基に「おおむね満足できる」状況と評価するかを考えた時、「努力を要する」状況への手立てを考えたりします。

学習評価については、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことが重要です。観点別学習状況の評価の記録に用いる評価については、原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとにそれぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、**児童生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選し、かつ適切に評価するための計画を立てることが大切です。**

まもなく、国立教育政策研究所から『**指導と評価の一体化**』のための学習評価に関する**参考資料（小学校・中学校）**が公開されますので参考にしてください。

プログラミングを楽しく体験 —令和元年度「小学校プログラミング教室」—

令和元年12月7日(土)に総合教育センター北部研修所において、令和元年度「小学校プログラミング教室」を実施しました。府内小学校・義務教育学校・特別支援学校に在籍する5年生児童を対象にした本教室では、抽選で参加者を決定しなければならないほど、たくさんの応募をいただきました。参加した児童は、株式会社NTTドコモが開発したプログラミング教育用ロボット「embot」を組み立て、オリジナルの飾りつけをしたり、自分の考えた動きのプログラムでロボットを命令どおりに動かし、夢中になって体験していました。



無人バスなどはすぐ未来にあると思った。プログラミングをしてちょっとむずかしいけれど、かんたんだなと思いました。



プログラムが先に組みこまれていなくて、ほとんどプログラムができたので楽しかったです。

タブレットと連動させるプログラムをやりたいと感じました。自分が指示したことをロボットがすることがおもしろいと感じました。

